


富山県教育カウンセラー協会主催研修

教室でできる特別支援教育 ～スキルアップの方法とポイント～

* 下記テキストも併せて活用を！
 ・教育カウンセラー標準テキスト(中級編)「特別なニーズへの対応」
 ・教育カウンセラー標準テキスト(上級編)「教室で行う特別支援教育」



名城大学大学院
 大学・学校づくり研究科 曾山和彦

2011.11.13

本講座5つの柱

～子どもにかかわるスキルアップのために～

- 現代の子ども像と教室でできる特別支援教育
- 発達障害の基本理解・対応(ホップ)
- 学級集団づくり(ステップ)
- ソーシャルスキル&自尊感情を育むための「伝わる言葉」のかけ方(ジャンプ)
- 実践;教室でできる特別支援教育

人のかかわり不足の子どもたち

環境の変化

- 情報化、スピード化
- 三間(時間、空間、仲間)の消失
- 核家族化 等

昔に比べ、人のかかわり不足の子どもたち


かかわり場面時々「**オニの心**」(曾山)が……

自分勝手な振る舞い、わがままな行為…他³

人のかかわり不足が生む問題 1

- 子どもたちの**社会性**が弱まっている

ソーシャルスキル
(人づきあいのコツ、技術)



2極化した行動
 相手を消す(いじめ)か、自分が消える(不登校)


通常学級における**気になる子**の問題がクローズアップ⁴

人のかかわり不足が生む問題 2

- 子どもたちの**自尊感情**が低下している

Self-esteem
 自己評価の感情。自分自身を価値あるものとする感覚であり、他者(身近な大人、友人等)の評価により育まれる

どうせ、ボクは…



自分自身のみならず、他者の受け入れも困難

これもいじめ、不登校、気になる子の問題に影響⁵

現代の子ども像と 教室でできる特別支援教育

ソーシャルスキル&自尊感情が乏しい子どもたち

学級の**気になる子**の存在がクローズアップ

1. 気になる子の理解
2. 学級集団の理解
3. 全ての子のソーシャルスキル&自尊感情育成

ユニバーサル(普遍的)な教育が可能となる

学習・生徒指導・特別支援が機能する教室⁶

学級が居場所になれば学習指導が機能する

□ 教科等の知識を十分に育むことができる

「秋田の子どもは、聴く姿勢が身につけている」
(沖縄県からの派遣教諭の声)

・「決まり、ルールは守ってあたりまえ」
・「いつも気をつけている言葉遣い」
(秋田の子どもの声; 全国平均を超える項目)

学級が居場所になれば生徒指導が機能する

□ 「自己指導能力」を十分に育むことができる

直面する問題に対し、自ら解決しようとする
児童生徒が育つ

・予防・開発的な生徒指導(全児童生徒対象)
・問題解決・治療的な生徒指導(特定児童生徒対象)

学級が居場所になれば特別支援が機能する

□ 児童生徒個々のニーズに応じた能力を十分に育むことができる

気になる子どもが学級集団に溶け込んでいる

発達障害の理解・基本対応の抑えは不可欠
「知らないでは済まされない」
校内支援体制の構築も不可欠

アスペルガーって? ADHDって?

教室でできる特別支援教育 ～ホップ; 気になる子の理解～

□ ユニバーサルな教育を行うために、障害特性、
家庭環境等、気になる子の理解は欠かせない

文部科学省調査(2002)では6.3%

・レッサーパンダ帽青年事件(2001)・同級生女児事件(2004)
・エリート少年自宅放火事件(2006)等、発達障害関連事件

・IQ136の少年は「広汎性発達障害(PDD)」と精神鑑定
・父親の叱責が恐ろしくて自宅に放火

障害が問題や事件を起こすのではなく、周囲の理解・対応の
不十分さが問題や事件の呼び水に……

10

気になる子の理解 ～学んだ二つの言葉～

□ 気になる子の理解に関して、忘れられない
二つの言葉がある

・うまく指導してもらえなくてもいい。でも、子どもの
ことは理解してほしい。(ある保護者)

・教師は専門家である。教育を行う者が、教育を
行う子どもについて無知のまま教壇に立つこと
は、子どもに失礼極まりない。(杉山)

せめてD. ウィリアムズ等の自伝を読んでほしい

11

(軽度)発達障害の子どもたち

LD・ADHD・高機能自閉症等の発達障害のある子
どもたちが小・中学校の通常学級には6.3%在籍す
る(2002年、文部科学省)

どうい
う子
ども?

知的遅れがない
IQ70以上

「軽度」と言われる所以

特異な困難を示す



12

発達障害とは；特徴及び主な障害

- 先天的
- 症状が発達期(乳幼児期に多い)に出現
- 生涯に渡る

基本的には、脳の機能的な問題が原因とされる

精神遅滞；認知の側面

脳性麻痺、筋ジストロフィーなど；運動の側面

発達性協調運動障害；手先の細かな動きの側面

LD、ADHD、高機能PDD ← いわゆる軽度発達障害

通常学級で彼ら自身「困っている子どもたち」¹³

発達障害者支援法（2005年4月施行）

□ 支援法における発達障害定義

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害をいう。

これまで教育や福祉の支援対象となっていなかったものに対し、国、地方公共団体の支援責務を明らかにした。また、学校教育における支援、福祉増進を目的とするため、対象はやや狭義になっている。

14

LD(学習障害)

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する、の中で、特異な困難がある <教育的LD> disabilities = 困難さ

言語性LD；言語理解、表出、読み、書きの困難
非言語性LD；空間、身体像、社会的知覚の困難

チェックポイント〜スキップ、フォークダンス、縄跳びの困難

読み・書き・計算の障害 <医学的LD> disorders = 機能不全

ディスレクシア¹⁵

ADHD(注意欠陥／多動性障害)

「不注意」、「多動性」、「衝動性」の三つの問題が見られるセルフコントロールの発達障害

前頭葉の活動が不活発(ドーパミンなどの神経伝達物質の量、動き！?)

実行機能障害、ワーキングメモリーの障害とも言われる

教室で、特に気になる子ども

活性化作用のある刺激剤
メチルフェニデート

リタリン → コンサータ(日本初の治療薬)

PDD(広汎性発達障害)

- ・三つ組(社会性、コミュニケーション、想像力)の障害を有する
- ・「自閉症スペクトラム」と同義
- ・以下の5つのPDDがある

- ・自閉性障害(*この中で知的な遅れを伴わないものを、「高機能自閉症」という)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD(*非定型自閉症と同義)

上記の中で、高機能自閉症、アスペルガー障害、知的な遅れを伴わない非定型自閉症を「高機能PDD」という¹⁷

LDへの基本対応

例：読みの困難がある場合

- ・教科書を120%に拡大する
- ・文章の文節ごとに区切りをつける
- ・本人に文節ごとに○で囲ませる

ゆっくり、正しく読めるようになった

教科支援の基本：該当学年より2〜3学年下げた内容を！

ADHDへの基本対応

脳の実行機能に弱さがあるため、自らの動機付けが困難
故に、報酬(ご褒美)で行動をコントロールすることが基本

改善目標の一つ決め、達成したら
シールやスタンプの報酬等

主な配慮事項

- ・注意や叱責の何倍もの賞讃を
- ・できていること、できそうなことを賞讃する
- ・賞讃、叱責は直後に明確に
- ・指示は必ず復唱させる
- ・クールダウンの場を設ける

「パソコン」とい
うリソースで別人
のように変わった
A君



A児への支援例～やくそくカード

パソコンが大好きで、
得意なA児

シールが5枚たまったら、
パソコン15分チケットを
もらえる



やくそく
名前 ○○○○

- ・朝の歌をみんなと一緒に歌います (シール1枚)
- ・集会に本をもたずに参加します (シール2枚)
- ・教室でみんなと一緒に勉強します (シール2枚)
- ・放送室で先生と一緒に勉強します (シール1枚)

等

がんばり表

12月5日 - 12月9日

	月	火	水	木	金
1	国語	国語	算数	国語	算数
2	体育	理科	国語	算数	算数
3	算数	体育	国語	道徳	算数
4	国語	算数	理科	算数	算数
5	社会	図工	体育	社会	社会
6	社会	図工	体育	社会	社会

A児の がんばり表

シールを
もらおうぞ!



A児の自作カード&パスポート

保健室に行きます

職員室に行きます

パスポート

みるくしょう
4年生 年 月 日
男 たんじょう日 月 日



22

PDDへの基本対応

一度に一つ

視覚的な工夫

予定の伝達

肯定的表現

文化に寄り添う

教室でできる特別支援教育

～ステップ;学級集団の理解(園分、河村)～

- 学習規律(ルール)が定着している学級には、「安心」が生まれ、その安心をベースに集団内に「ふれあい(リレーション)」が生まれる。「安心・ふれあい」のある学級は子どもにとって居場所となり、満足度も高い

- ・学級集団状態を把握する診断尺度Q-U(河村)活用校が増加。
- ・Q-Uデータによる学級状態が良好であれば、気になる子の学級適応もよい(深沢、曾山・堅田)

24

学級づくりの基本

～どの子にも居場所となる学級づくり(園分・河村)～

- ルールづくり
- ふれあい(リレーション)づくり

ラポートとの違いは？

プラグマティズム(実用主義)の薦め

- ・使えるものは何でも使え
- ・役に立つ知識こそ真の知識

教育のプロとして腕の見せどころ(私ならば……)

25

A. マズローの欲求階層説

- 第一欲求(生理的)が満たされると、第二欲求(安全・安定)が生じ、これも充足されると第三欲求へ進む。上位欲求は下位欲求がたとえ部分的にせよ満たされて初めて発生する

ふれあい

ルール

28

ソーシャルスキル・トレーニング

Social Skills Training (SST)

- SSTは行動の教育;教えることがなじむ
- ・「してみせて、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば 人は動かじ」(山本五十六)

「質問ジャンケン」におけるSSTのねらい

あいさつ、話の仕方(〇〇です)、話の聴き方(傾き、視線、表情)等

27

ソーシャルスキル・トレーニング

<基本展開>

1. インストラクション(言語教示)
2. モデリング(示範)
3. リハーサル(実行)
4. フィードバック(評価)

28

スキル(技)を育むには？

- 「個性を捨てろ、型にはまれ！」(三田)

アシスタント志望学生が、「個性、自分らしさ」を口にする。しかし、はじめは「型」の習得に専念させることが大切。型がある程度身についた後に自分の色がつき始める。

イチロー選手がはじめから「イチロー打法」を身につけていたわけではない！

29

気持ちの入っていないスキルに意味はある？

- 「行動が感情をつくる」(ウィリアム・ジェームズ)

ジェームズは、「悲しいから泣くのではない。泣くから悲しいのだ」と述べた。口になじむほど「ありがとう」と言っていると、感謝の気持ちがやがて湧いてくる

めざせ！「日に用いて知らず」

30

ソーシャルスキルのベース理論

学んでいないなら学ばばいい、
間違って覚えているなら学び直せばいい



行動理論
人は性善説でも性悪説でもない
「白紙」
お望みとおりの人間に育ててみせる(ワトソン)

31

教えることがなじむ・なじまない「境」がある

- 道徳性(大人に委任→自分で判断)、友人・母親関係(母への同調→友人への同調)が質的に変化する10歳前後(川島)
- 思春期



教えがなじむ時期に徹底して教えたいソーシャルスキル
「オニの心」が強くなる前に教える
「境」を超えると「オニの心」が強くなる。その前に！

「境」に応じ、「オニの心」を抑える言葉のかけ方がある ³²

学級集団を活用したSSTの薦め(小林)

- 人づきあいの楽しみ方を学ばせる
- 教え込む雰囲気ではなく
- 楽しくて仕方ない工夫
- 友だちと一緒に活動する喜び

33

A小学校 & B中学校の実践 「人づきあいのコツを学ぶSST」

- 全学年が年間を通じて、朝や帰りの短学活を使い、SSTに取り組む。

SSTタイム継続により、授業中の子ども同士のかかわり方もとてもよくなった。自分の考えに固執せず、柔軟な考えをもつ子どもが増えてきた。(A小教師の声)

先生とA君のうなずきには勝てないけど、僕なりにがんばって聴きました。Bちゃんは「そうそう」と声を出して反応してくれたので、楽しくなってきました。(B中生徒の声)

34

A小学校 & B中学校の実践共通点

- 短時間・継続実施
- 年間計画作成
- 客観性のある尺度(Q-U)導入
- 成果発表の場の設定
- 継続研修

35

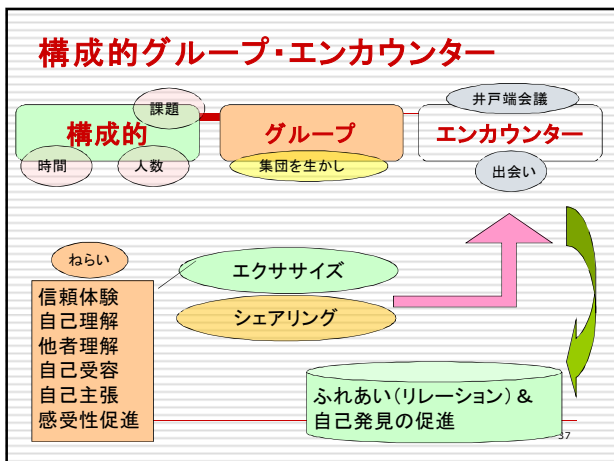
構成的グループ・エンカウンター Structured Group Encounter(SGE)

- SGEは感情の教育;教えることがなじまない
- ・「〇〇に気づいた、〇〇を感じた」等、個々の気づきをうながす。

「質問ジャンケン」におけるSGEのねらい

信頼体験、自己理解

36



自尊感情を育むには？

- 自尊感情は他者からの評価によって育まれる
- 褒めるだけでは育たない。褒めるとかえって自尊感情が下がることもある
- 伝わるように言葉をかける ← 使える「カウンセリング理論・技法」がある

38

学級づくり;ある教師の声 ～「周りの子を育てました」～

小4男児の暴言等による学級トラブル頻発

↓

全体SST実施、「ルールブック(R. クラーク)」活用等により、周りの子どもを育てたら、対象児とのトラブルが減り、対象児も育った

参考:「ハンカチの話」(親野)

「指導していただいたクラスがその後大変良くなった。周りを育てることが大切という助言が特に有効だった。とても感謝している」
(鳥取A小学校長)

教室でできる特別支援教育 ～担任の構え;個への深入りをせず、配慮をする～

担任は全ての子にとって「僕(私)の先生」

- 40人の子どもと大きな道を歩く
- 脇道にそれる子どももいる
- 立ち止まるが、脇道には入らない
- いつでも戻れる居場所の確保

脇道には深入りせずに!

「それ方」の程度により校内体制(支援員等)が必要

一斉指導における 個への配慮(諸準備等)例

学習面	・学習レベルに合わせたプリント準備(2,3学年下げた内容等)
行動面	・時々、立ち歩く程度は目をつむる ・学習、対人ルールを掲示する(ルール違反の時には非言語メッセージを送る)

対象児を馬鹿にする、えこひいきと反発する場合もあるため、学習や行動の「練習」であること等、他児への説明は必要。また、後の対象児保護者トラブルを防ぐため、保護者面談も必要。

「やや深入り」せざるを得ない場合の他児への課題も準備しておく

実践知を学ぶ・真似る ～他校に伝えたい実践～

1. C小学校「授業づくり3原則」
→授業規律、リズムとテンポ、1指示1動作
2. D小学校「ユニットとルーティン」
→
3. E中学校「アサーショントレーニング」
→全学級、学活で「上手な断り方」のロールプレイ

気になる子が学級に溶け込んでいる

42

通常学級における特別支援教育が進められるための3条件

特別支援教育コーディネーターが機能している

校内委員会が機能している

個別の指導計画の作成 & 機能している

教室でできる特別支援教育

～ジャンプ：ソーシャルスキル & 自尊感情育成～

1. SST(ソーシャルスキル・トレーニング)やSGE(エンカウンター)を活用する

2. カウンセリング理論による**伝わる言葉**をかける

- 東の横綱：「いいところ探し」
- 西の横綱：「対決アイメッセージ」
- 東の大関：「リフレーミング」
- 西の大関：「例外探し」

「伝わる言葉の
番付表！」



44

東の横綱 「いいところ探し」

すべての子どもが
「グローブ」を持っている

いつでもどこでも
リソース(資源)、リソース！！

「褒める・勇気づける・認める」をバランスよく！

<いいところを誤解した！？>

ある担任の先生から、気になる子への支援相談を受けていたときのエピソード。

- ・「A君のいいところはどこですか？」(私)
- ・「ひ○○○○○○○ん」(担任)



45

西の横綱 「対決アイメッセージ」

私語対策に…

行動

相手の行動を非難がましくなく
描写する

影響

相手の行動が自分に与える
影響を伝える

感情

その影響が自分に抱かせる
感情を伝える



東の大関 「リフレーミング」

先生方は得意！

「人生、考え方一つ」(元バレー選手の言葉)

1. 飽きっぽい →
2. おしゃべり →
3. おせっかい →

考え方次第で悩みは消える(論理療法 by エリス)



47

西の大関 「例外探し」

是非お試しを！

うまくやれていること(例外)はきっとある！

暴言が多い
(問題)



丁寧な言葉を使う
こともある(例外)

例外の責任追及

なぜ、例外が起きたのかを心に貯めておくことで、
声をかけられる



48

実践;教室でできる特別支援教育 ～今、私が小4担任なら実践したい授業～

学級の子どものためのソーシャルスキル、自尊感情を育むためにどのようなアプローチをしてもよい

教育のプロとして、「教師の腕の見せどころ」

参加の先生方を、小学校4年生の児童に見立て、45分相当の模擬授業を実施する
題材:「見つけよう! 自分のいいところ、友だちのいいところ」

49

おわりに

1. **新たな視座**で実践更新を (前田)
2. 情熱だけでは難しいことがある
技が必要 (鹿嶋)
3. 一つだけでは多すぎる (外山)
4. 「アンテナ」を2本立てる
「ルール違反&遵守」の両方を見逃さずに
5. 最強・最高の教材は教師自身

実践に、書物に……
お互いに学びましょう!

50

主な参考・引用文献

- 「特別支援教育のための精神・神経医学」、杉山登志郎・原仁、学研
- 「アスペルガー症候群と高機能自閉症 青年期の社会性のために」、杉山登志郎、学研
- 「叱らないしつけ」、親野智可等、PHP
- 「Q-U入門」、河村茂雄、図書文化
- 「親業」、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 「自閉症だったわたしへ」、ドナ・ウィリアムズ、新潮文庫
- 「我、自閉症に生まれて」、テンブル・グランディン、学研
- 「指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック」、黒沢幸子、金子書房
- 「思考の整理学」、外山滋比古、ちくま文庫
- 「教師の実践する力を鍛える」、前田勝洋、黎明書房
- 「僕はパパを殺すことに決めた」、草薙厚子、講談社
- 「プロフェッショナル仕事の流儀～人の中で人は育つ」、鹿嶋真弓、NHKエンタープライズ
- 「気になる子への対応術」、会沢信彦・曾山和彦、教育開発研究所
- 「時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキルトレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「特別支援教育に生かすカウンセリング」、齋富祥彦・曾山和彦・岸田優代、ぎょうせい

ホームページ:「学校におけるカウンセリングを考える会」

51